

JCCA

Kyushu Branch, Japan Civil Engineering Consultants Association

九州支部
支部だより

Vol. 55 2025. 7

支部長のご挨拶.....1	部会の活動10	令和7年度会員名簿18
支部組織図.....2	総務・企画部会.....10	
令和7年度事業運営方針.....3	対外活動部会.....13	
令和6年度事業報告.....5	技術部会.....14	
	夢アイデア部会.....15	
	委員会 SNS.....16	



日頃より、一般社団法人建設コンサルタンツ協会九州支部の活動に対して、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当支部は、九州・沖縄 8 県で令和 7 年 4 月末現在、会員数 159 社[※]を擁し、長年にわたり会員相互並びに関係諸機関や地域の皆さまと連携しながら、地域のさまざまな社会資本整備における企画、調査、設計、施工管理等の業務に取り組んでおります。

わが国では、デフレから脱却し成長型の経済を実現する絶好の好機ととらえ、様々な分野で積極的な設備投資が進められていますが、九州においても、半導体関連の工場建設等が活発に行われ、それに伴い道路や電力、工業用水といった社会資本の更なる整備が必要となっています。

一方で、昭和の高度経済成長期に建設された社会インフラの経年化への計画的な対処が必要になるとともに、気候変動により頻発化、激甚化が懸念される災害リスクや、令和 6 年 8 月に初めて発出された「南海トラフ地震臨時情報」に示されるような大規模地震への備えも切迫性を増しており、新たな「国土強靱化基本計画」のもと各分野で具体的施策が推進されているところです。

このような背景を踏まえ、地域に貢献し信頼される建設コンサルタントとして、会員企業が切磋琢磨してこれらの社会課題解決に積極的に取り組むことが求められています。

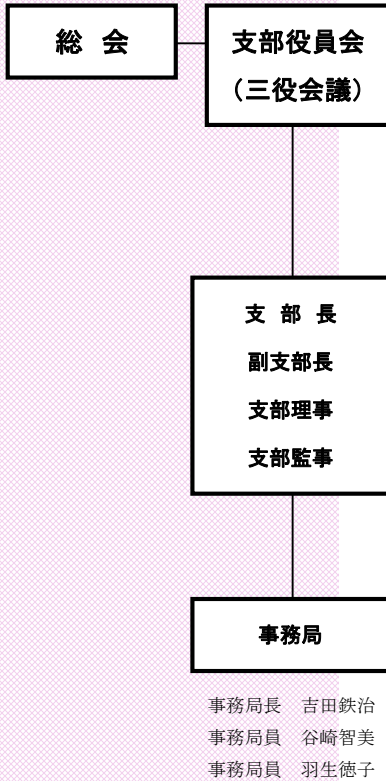
また、少子高齢化が進む社会においては、次の世代の担い手を確保するためにも、働き方を改革し、デジタル技術の活用等による生産性向上などにより、若い技術者が魅力を感じる産業であるような環境づくりにも取り組まなければなりません。

当支部では、会員企業の力を結集してこれらの諸課題解決に挑戦し、環境に配慮した社会資本の整備並びにその活用に貢献していく所存です。

今後とも一層のご支援とご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

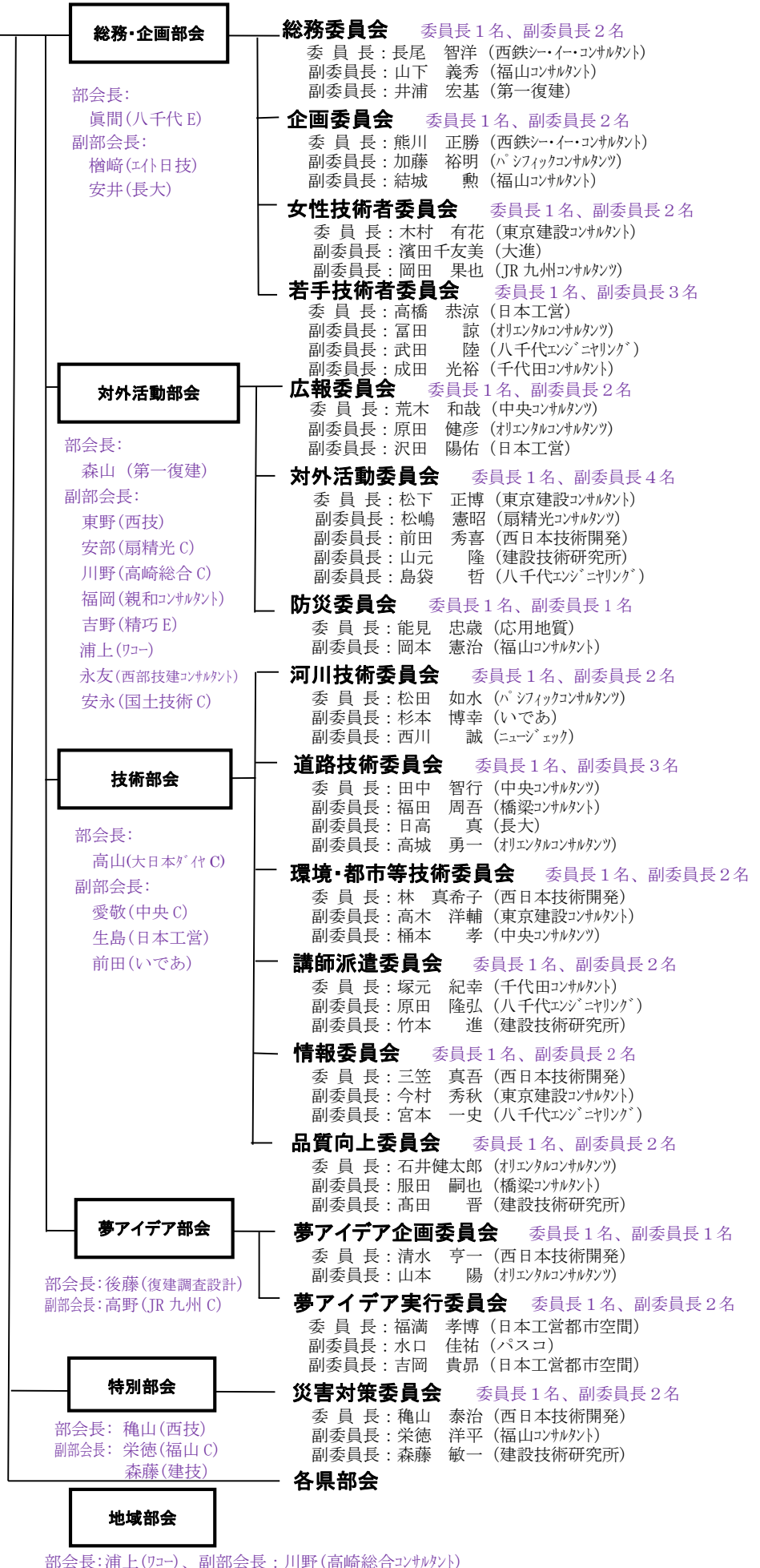
令和 7 年 4 月
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部
支部長 **穂山 泰治**

([※]2025 年 7 月時点 158 社)



支部役員		
支部長	樋山 泰治	西日本技術開発
副支部長	栄徳 洋平	福山コンサルタント
副支部長	森藤 敏一	建設技術研究所
支部理事	檜崎 拓也	エイト日本技術開発
支部理事	安部 清美	扇精光コンサルタンツ
支部理事	森山 秀馬	第一復建
支部理事	高山 淳一	大日本グレイコンサルタンツ
支部理事	愛敬 圭二	中央コンサルタンツ
支部理事	安井 義博	長大
支部理事	東野 修幸	西日本技術開発
支部理事	生島 潤一	日本工営
支部理事	後藤 正孝	復建調査設計
支部理事	眞間 修一	八千代エンジニアリング
福岡(理事)	川野 哲郎	高崎総合コンサルタント
佐賀(理事)	福岡 仁	親和コンサルタント
大分(理事)	吉野 俊輔	精巧エンジニアリング
熊本(理事)	浦上 雄樹	ワコー
宮崎(理事)	永友 教治	西部技建コンサルタント
鹿児島(理事)	安永信一郎	国土技術コンサルタンツ
監事	高野 道直	JR九州コンサルタンツ
監事	前田 義孝	いであ

令和7年7月1日現在



1月1日の能登半島地震で始まった令和6年は、日本各地において毎月のように地震、豪雨、大雪・雪崩などの死者や交通障害を伴う自然災害が頻発しました。能登地方では9月21日から22日にかけて記録的大雨により死者16人、負傷者47人が発生し、「複合災害」として今後の対応のあり方が課題になっています。九州でも令和6年8月8日の日向灘地震（M7.1、最大震度6弱）が発生し、初の「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、さらに10月21、22日に宮崎県では死者2人を含む豪雨災害が発生しました。年が明けてからは3月に霧島山（新燃岳）の噴火警戒レベルが3に引き上げられています。この間の1月28日に埼玉県八潮市で道路陥没事故が発生し、下水道管の老朽化が原因とされています。

これらの激甚化、頻発化する自然災害からの被害の最小化、復旧・復興への迅速化、また、社会資本の維持管理・更新の緊急性などの社会的要請が高まっていることは、近年繰り返す話題になるところです。また、公共事業が国のGDPを支える一因であり、経済的発展や国力の維持にもその必要性が高いことを、足立敏之事務所の資料などからもみてとれます。（足立参議院議員の2024年12月27日ご逝去に、心よりお悔やみ申し上げます。）

かかる社会的要請などに対して、社会資本整備における建設コンサルタントの役割はますます高まっています。すなわち、これまでも増して担い手の確保、DX等による生産性の向上、そして良質な技術サービスが重要になっています。

このような状況にあって、これまで、労働基準法改正（2019年4月1日）、民法改正（2020（令和2）年4月1日）、高齢者雇用安定法改正（2021（令和3）年4月1日）が施行されたほか、2024年には「建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の一部を改正する法律」（2024年6月14日）、「公共工事の品質確保の促進に関する法律等の一部を改正する法律」（2024（令和6）年6月19日）が公布されました。契約の厳格化や職場環境の改善に係る制度が構築されつつあり、これらの施策への対応力を高めることが課題といえます。

さて、令和6年発表の「SDGs報告2024」では、「SDGsの169のターゲットのうち、順調に進んでいるのは、わずか17%。3分の1以上は進捗が停滞、または後退している。」と厳しい現状が示され、国際的な研究組織「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク」（SDSN）はSDGsの達成度を評価した「Sustainable Development Report」（持続可能な開発報告書）で、日本は167カ国中18位、17の目標のうちジェンダー平等や気候変動対策など5つの目標が前年に続いて「最低評価」だったとの報告を行いました。日本では、2030年度までに温室効果ガスを2013年度比で26%削減し、2050年までにカーボンニュートラルを達成する目標を掲げており、内閣府をはじめ各関係省庁で取組を進めています。国土交通省は、持続可能なインフラメンテナンスの実現を目指して「予防保全型」のインフラメンテナンスへの本格転換を図り、インフラの長寿命化とコスト削減を推進するほか、カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーの取組を加速し、グリーン社会の実現に貢献するとしています。

建設コンサルタントは、企画・構想段階から維持管理段階まで実工事を除く幅広い業務領域を担っており、地域社会における生活環境、自然環境への配慮、建設副産物やCO₂の発生抑制、リサイクルの推進などの事業の早期段階における環境配慮に係る建設コンサルタントの役割・責任は重大といえます。

このように、旧来の役割を再認識すると同時に、多様化・拡大する期待と要請を踏まえて、建設コンサルタンツ協会九州支部は、①会員各社の安定経営のための環境づくり、②担い手の確保と育成、以て、③社会的役割の達成と認知度の向上、これらの好循環をめざし、以下の運営方針を掲げて、その施策に取り組めます。

(1) 建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

- ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起
- ② 経営の安定化と就業環境の改善のための環境整備
- ③ 若手・女性・シニア社員等がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

(2) 技術力と品質の確保・向上の促進

- ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策に関する情報提供の促進
- ② 生産性向上につながる各種の施策や先進技術等の情報提供と取組の促進
- ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた国土強靱化・SDGs への取組の促進

(3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進

- ① 産学官一体となった建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等に関する広報活動の強化
- ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供
- ③ 各種社会貢献活動等の継続と充実

(4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底

- ① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進
- ② 法令遵守の徹底に向けた助言・対応支援等
- ③ 改正労働法、改正民法への対応支援

(5) 会員であることによる便益向上の一層の促進

- ① 上記 4 項目による便益についての理解の促進
- ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供
- ③ デジタル技術を活用した資料共有の促進

[補足説明]

- 1) 事業運営の大きな柱として、(1)、(2)、(3)を立てる。(1)は建設コンサルタント事業の根幹に関わる方針、(2)は当該事業の立脚点である技術力と品質に関わる方針、(3)は当該事業の社会的位置と貢献に関わる方針である。なお、(1)③には人材の多様化に対応して、前年度に「シニア社員等」を追加した。
- 2) (4)は建設コンサルタント事業を営む上での絶対的条件である職業倫理と法令遵守に関わる方針である。
- 3) (5)は特に会員の便益向上の一層の促進に関わる方針である。なお、③については、前年度は「企業のDX推進に向けた各種情報の提供」としていたが、より具体的な取組を示した。

以上

令和 6 年は能登半島地震で始まり、その衝撃と悲しみを改めて感じています。犠牲になられた方々に心からの哀悼の意を表するとともに、未だ不自由な生活を強いられている方々には一日も早く平常の生活に戻られることを祈念します。

29 年前の阪神淡路大震災以来、甚大な被災経験を経て、社会資本整備に携わる私たちの災害対応力は確実に上がってきています。しかし、能登半島地震においては地理的・地形的特性のため、情報収集と生命を維持するための応急対応の難しさを改めて認識させられました。これは、私たちがこれまでに経験したことのない新たな課題であり、その解決に向けての取り組みが求められています。

九州においても類似する特性があり、大規模災害への備えと発災後の対応力向上がより強く求められています。建設コンサルタンツ協会九州支部は、その一助として自然災害発生時に災害対応を行う行政機関に対して災害協定を締結し、速やかな技術支援体制を整えてきました。しかしながら、私たち建設コンサルタントが担うべき重要な使命を果たすためには、人材育成と技術革新が求められています。具体的には、災害時に迅速かつ適切に対応できる人材の育成、災害対策のための新技術の開発とその普及、災害情報の収集と分析のための情報システムの整備などが必要となります。

また、令和 7 年 1 月には埼玉県で下水道施設の劣化による大規模な道路陥没事故が発生しました。この他にも、インフラ設備を要因とする事故などが顕著に現れており、社会資本設備の老朽化に対応する、適切な維持管理、長寿命化計画、更新等の再整備が急務となっています。

これらのことから、経済活動を支える基盤整備はもとより、地域と都市部の格差是正のための地域活性化など、インフラ整備への期待と要請は以前にも増して高まっています。これは、私たちが社会に対して果たすべき役割が大きくなっていることを示しています。私たちは、地域の特性とニーズに応じたインフラ整備を進めることで、地域の活性化と経済の発展に寄与するとともに、地域間の格差の是正にも努めていきます。

日本社会における経済発展の貢献や地域格差是正の任務の一端を担う建設コンサルタントですが、九州ではそのための担い手確保が最重要課題になっています。若い人材やベテラン技術者が入職して定着するように、働き方改革と同時に進めていく必要があります。

昨今の DX（デジタルトランスフォーメーション）は、働き方改革への課題解決の一つと期待されますが、生産プロセスへの実装は道半ばで、建設業界内での人的・経済的な格差も見られます。しかし、DX は私たちの業務を効率化し、より高度なサービスを提供するための重要な手段であり、その導入と活用に向けた取り組みを進めなければなりません。その一環として、発注者である自治体には DX 推進ロードマップ策定の要望を行い、BIM/CIM の導入・活用を促してきました。加えて、SDGs への取組など持続可能な事業展開は建設コンサルタント業界にも求められ、企業や業界の社会的認知度向上の必要条件になってきています。私たちは、SDGs の達成に向けた取り組みを進めることで、社会的な価値を創出し、企業の持続的な成長を実現します。

建設コンサルタンツ協会九州支部は、働き方改革や企業の持続的な成長に対応するため、①会員各社の安定経営のための環境づくり、②担い手の確保と育成、以て、③社会的役割の達成と認知度の向上、建設業界活性への好循環をめざし、以下の運営方針を掲げて、その施策に取り組んでいます。

- 1) 会員各社の経営安定化を目指し、経営者向けのセミナーや情報提供を行います。
- 2) 若手からベテランまでの人材育成に力を入れ、研修や技術交流会を開催します。
- 3) 社会的役割の達成と認知度向上のためには、地域社会との連携を深め、地域貢献活動を展開します。

さらには、長時間労働の改善、女性活躍推進法を踏まえた女性技術者のための環境整備、ワークライフバランスの推進等、社会全般の課題に対しても真摯に努めて参ります。

以上を踏まえ、令和 6 年度には次に示す運営方針を掲げ、発注者とのパートナーシップの維持向上と相互理解を図りつつ、会員企業共通の課題認識とその解消、魅力ある職業としての地位確立などに向け、会員各位のご尽力を頂きながら様々な事業活動を展開して参りました。

【令和 6 年度（2024 年度）事業運営方針】

（1）建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

- ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起
- ② 経営の安定化と就業環境の改善のための環境整備
- ③ 若手・女性社員がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

（2）技術力と品質の確保・向上の促進

- ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策に関する情報提供の促進
- ② 生産性向上につながる各種の施策や先進技術等の情報提供と取組の促進
- ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた国土強靱化を含む SDGs への取組の促進

（3）広報活動の強化と社会貢献活動の推進

- ① 産学官一体となった建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等に関する広報活動の強化
- ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供
- ③ 各種社会貢献活動等の継続と充実

（4）職業倫理の保持と法令遵守の徹底

- ① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進
- ② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・対応支援等
- ③ 労働法制改正、民法改正への対応支援

（5）会員であることによる便益向上の一層の促進

- ① 上記 4 項目による便益についての理解の促進
- ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供
- ③ 企業の DX 推進に向けた各種情報の提供

令和 6 年度の事業運営方針に基づいての具体的な事業活動については、支部役員会での審議結果に基づき、総務・企画部会、対外活動部会、技術部会、夢アイデア部会、特別部会、地域部会の 6 部会とその下部組織である合計 16 の委員会が中心となり、会員会社や事務局の支援・協力のもと、自律的かつ積極的な活動を展開してまいりました。

継続してきましたこれまでの活動に対して支持と賛同を得て、九州支部の会員数は、令和 6 年度末には 159 社（本会社 109 社、支会社 50 社）となりました。全国の支部の中でトップクラスの陣容となっています。

事業活動内容の詳細は、各部会報告に示すとおりですが、運営方針に沿った全体の総括を、以下にご報告いたします。

（1）建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起

国土交通省九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局及び各地方自治体（政令指定都市含む 11 自治体）と意見交換会を実施しました。国の機関とは本部・支部合同で、地方自治体とは支部単独で開催しました。

九州地方整備局とは、実務者レベルの業務円滑化調整会議および実務者意見交換会を対面会議で実施しましたが、令和 6 年度は台風 10 号の影響により、本部・支部合同の意見交換会は書面審議としました。一方で、NEXCO 西日本九州支社との意見交換会・業務円滑化調整会議は開催できませんでした。

各自治体との意見交換会では、支部会員会社へのアンケート等による発注者別のデータを充実させ、会員の声を反映した内容としました。それぞれの地域特性を考慮した「各自治体個別の要望と提案」を中心に時間を十分にとり、課題解決型の意見交換を実施しました。その結果、各自治体と充実した意見交換会ができるように改善が図られたことに加え、受注者が認識する課題に対して発注者の理解が更に進んだと評価しています。

② 経営の安定化と就業環境の改善のための環境整備

発注者となる国・地方自治体との意見交換会においては、国の機関および各自治体の今後の発注見通しについて情報提供を求めるとともに、それを踏まえた経営の安定化に資する取組み、すなわち担い手の継続的な確保・育成、および就業環境整備等の議論を行いました。

労働時間の削減とワークライフバランスの推進は、建設コンサルタント業界としても受発注者双方で取り組むべき喫緊の課題です。発注者との意見交換会においても「必要な工期の確保と納期の平準化」、「BIM/CIM 活用の推進」、「設計条件明示チェックシートの活用」などを要望し、各発注者より前向きな回答を得ています。

「ノー残業デー」については、本部主催の全国一斉の取組みに呼応し、支部でも多くの会員会社が参加しています。

③ 若手・女性社員がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

九州地方整備局や各自治体との意見交換会において、若手・女性技術者の活躍を促進するような業務発注のあり方を受発注者協働で継続的に検討を行い、具体的な試行業務の実施と改善を進めています。

支部では、「若手技術者交流会」を例年開催し、若手技術者による業務成果の発表と活発な意見交換を行っていますが、令和6年度は台風10号の影響で急遽Webのみでの開催となりました。また、若手技術者委員会が開催した学生参加型の「Job-Cafe」では、計49名の大学生と若手社員が、専門分野別のマッチングトークや全体のフリートークを行うことができました。

女性技術者委員会では、「第8回女性技術者交流会」を対面にて開催しました。「わたしの働き方」と「WorkとLifeの関係性」をテーマに、ライトニングトークとワールドカフェ形式による意見交換を行うなど活発な活動を行いました。また、女性技術者委員会の活動を報告する「ニュースレター」19号、20号を発行しました。さらに、関東・近畿・中部支部にて同様の活動をしている方々との4支部意見交換会を実施し、マイワーク・マイライフの更新について報告しました。

(2) 技術力と品質の確保・向上の促進

① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策に関する情報提供の促進

会員会社の技術力向上を目指し、河川、道路、環境・都市の3技術分野において、各種の技術講演会、技術セミナー、研究会、発注者との技術意見交換会等をハイブリッド形式（会場参加とWeb配信を併用）にて開催しました。河川技術分野では、河川行政や流域治水などに関する講演会やセミナーを実施しました。道路技術分野では、講演会の他に実践的な耐震設計の勉強会や高校生を対象としたSDGs探究活動（出前授業）を行いました。また、環境・都市技術分野では「人と環境と都市づくり」と題した講演会を実施しました。

現地見学会は、河川技術委員会、道路技術委員会で開催し、設計と工事の関わりを通して技術者としての見識向上を図りました。さらに、西日本4支部の技術者と意見交換会を実施し、西日本の国土利用やインフラ整備のあるべき姿として議論を深めています。

品質の確保・向上の促進では、“成果品の品質向上”を目指し、あらゆる分野について継続的な改善施策の検討を行い、効果的な情報提供と啓蒙活動を展開しました。地域会員のために、チェックポイントシートの活用方法や、エラー事例とその改善策を継続的に提供する「地域品質セミナー」を鹿児島県、大分県、宮崎県で開催しました。

② 生産性向上につながる各種の施策や先進技術等の情報提供と取組の促進

支部会員向け、「情報セミナーin鹿児島」を支部主催で開催し、BIM/CIM、情報セキュリティに関しての最新情報を、会場とオンライン上のハイブリッド形式で提供しました。また、「建設コンサルタントDX講演会」を昨年度に続き開催し、会員向けにDX（BIM/CIM、AI、クラウド等）に関しての最新情報をオンライン上で提供しました。

さらに、本部の関係委員会と連携しながら、会員会社の生産性向上に向けての情報提供やスキルアップを目的として、本部主催で毎年実施している「ICTセミナー」、「GIS講習会」、「BIM/CIMハンズオン講習会」を支援いたしました。なお、「情報セキュリティ講習会」は、本部単独主催となりました。

③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた国土強靱化を含むSDGsへの取組の促進

河川、ダム、道路、橋梁、トンネル等の維持管理については、九州地方整備局の各担当部局との意見交換会、勉強会、研究会等を開催し、その中で受発注者協働による今後の維持管理事業のあり方等についての検討を進めています。橋梁については、PC建協・橋建協との合同研究会（橋梁三力研究会）等による維持管理事業への取組みを検討しています。

2030年までに達成すべき国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）に対しては、自然災害リスク、水資源、エネルギー、生物環境などの長期的なリスクを見据え、多様な分野で事業を展開しています。

(3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進

① 産学官一体となった建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等に関する広報活動の強化

産学官連携による各種イベント等の機会を活用しながら、一般市民や学生等を対象に建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等について、広く情報発信を進めています。「九州建設技術フォーラム」や「夢アイデ

ア交流会」などのイベントでの広報や、「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム」の事務局として支援を進めています。

また、ホームページによる広報を継続するとともに、九州支部の公式 SNS（Instagram）による情報発信を適時更新しながら継続しています。また、琉球大学キャリアデザイン講座に講師を派遣し、就活に向けた貴重な情報収集の場を提供しました。

メディアへの対外広報としては、支部活動を業界紙各社に向けて発信し、取材可能情報を伝えるとともに、新聞社取材記事のホームページへのアップロード等を実施しています。

② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供

令和 6 年度の防災訓練は、中国支部が現地本部となり、「中国地方を震源とするマグニチュード 7.0 の地震が発生」との想定のもと、本部と連携した協会全体での演習を実施し、大規模災害発生時における会員会社への情報伝達および支援活動の即応性等の検証を行いました。

また、沖縄総合事務局の要請により、「沖縄本島近海を震源とし、那覇市で震度 6 強の地震が発生、津波警報が発表された。」との想定で実施された、災害対応タイムラインワークショップに参加しました。

令和 6 年度末における災害協定締結団体は、昨年度と同じく九州地方整備局、沖縄総合事務局、熊本県、熊本市、北九州市、西日本高速道路株式会社九州支社、福岡北九州高速道路公社、水資源機構筑後川局の 8 団体であり、支援要請時には速やかに対応できるように体制を整えています。

③ 各種社会貢献活動等の継続と充実

九州支部が取り組んでいる社会貢献活動は、夢アイデア事業と講師派遣を主要な柱としています。夢アイデア事業については、提案された夢アイデアをいかに実現化に結び付けていくか、その具体的なアプローチを実際に進めていくことが、最も重要な社会貢献であると認識しています。そのため、広く一般市民の参画を促すとともに、夢アイデアを現実的な事業として推進していくことのできる人材の育成に取り組んでいます。

令和 6 年度は、令和 5 年度に夢アイデア交流会で優良賞を受賞した「英彦山 1000 年植樹プロジェクト」について本格的に活動を開始し、山桜の種拾いから種まき、植樹候補地での竹伐採などを行いました。また、「柴北川プロジェクト」では、都市と農山漁村の交流事業による地域支援として、昨年度に続き恒例行事（田植え会、稲刈・収穫祭）に参加しました。

講師派遣については、国・自治体および関連団体等が開催する研修会等へ、依頼に基づいた最適な人材を派遣し、当該職員への情報提供とその技術力向上の促進に取り組んでいます。令和 6 年度は、九州地方整備局、福岡県、福岡市、長崎県建設技術センター、宮崎県建設技術センターや、地域部会向け講習会への講師派遣を実施しました。

（４）職業倫理の保持と法令遵守の徹底

① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進

支部では、「一般社団法人建設コンサルタンツ協会倫理綱領」および「建設コンサルタント技術者の倫理」を常に念頭に置いて業務遂行にあたるよう、役員会等を通じて会員会社への啓蒙に取り組んでいます。

② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・対応支援等

支部では、会員会社における法令遵守の徹底を図るため、建設関連業五団体共催による「令和 6 年度コンプライアンスに関する会員研修会」を令和 6 年 6 月に対面方式にて開催しました。また、「コンプライアンス・プログラム」の策定状況について役員会等を通じて報告するとともに、同プログラムの策定事例等を会員に配布し、プログラム未設定会社への策定支援および法令遵守の徹底の周知を実施しています。

③ 労働法制改正、民法改正への対応支援

会員会社に対しては、令和 6 年 11 月にオンラインで開催した働き方改革セミナーの中で、「セーフティネットに関する支援活動」をテーマに講習会を実施しました。同セミナーでは、インターシップの課題や対応、仕事を評価する視点および若手社員の育て方について、他社の取組事例や当事者意見などにより認識の共有を図りました。

（５）会員であることによる便益向上の一層の促進

① 上記 4 項目による便益についての理解の促進

支部では、毎月開催の三役会議および支部役員会で、種々の支部活動についての審議と方針決定を行い、これ

に基づき各部会および傘下の委員会活動を実施しています。その中で、常に上記 4 項目についての便益を、会員会社があまねく享受できるように留意するとともに、活動時期の平準化や委員会相互の情報交流の促進について検討を行い、「会員であることによる便益と満足度の向上」に努めています。特に、地域の会員会社の意見等については、本部地域コンサルタント委員会および地域部会を通じて、より一層きめ細かく支部活動へ反映させる取組みを進めています。

② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供

本部主催で「協会加盟会社の経営分析説明会」を対面方式で開催しています(令和 6 年度は、中国支部、近畿支部、本部で開催)。同説明会では、企業経営に関わる重要な現状分析と知見の提供を行いました。また、支部主催で「働き方改革セミナー」をオンラインにて開催しました。管理部門の職員のみならず、業務実施現場の技術管理者に必須の極めて実利的な講習内容でした。

③ 企業の DX 推進に向けた各種情報の提供

令和 6 年度は本部支部を問わず、講習会やセミナーを会場参加、ハイブリッド形式またはオンライン形式で開催しました。具体的には、「BIM/CIM ハンズオン講習会」、「建設コンサルタント DX 講演会」、「ICT セミナー」、「GIS 講習会」、「情報セミナー」等を開催しました。今後も支部として、オンラインでの講習会やセミナーの受講環境の向上に努め、最新の情報を提供していきたいと考えています。

以上

【総務・企画部会】

1. 令和7年 定時総会（総務委員会）

イベント名 (一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部 令和7年定時総会

開催日 令和7年4月22日 15:00~16:30

場所 八仙閣本店(福岡市博多区博多駅東2-7-27)

下記のとおり報告ならびに決議した。

議案		
(審議)	第一号議案	令和6年度事業報告(案)
	第二号議案	令和6年度決算(案)
	第三号議案	役員改選(案)
(報告)	第一号議案	令和7年度事業計画
	第二号議案	令和7年度予算



2. 第43回軟式野球大会（総務委員会）

イベント名 第43回軟式野球大会

開催日 令和7年4月25日(金)~4月26日(土)

場所 雁ノ巣レクリエーションセンター(福岡市東区奈多1302-53)

参加者 23チーム

内容 【優勝】JR九州コンサルタンツ(株)、
【準優勝】(株)建設技術研究所九州支社、【3位】西日本技術開発(株)



▲野球大会の様子



▲優勝の JR 九州コンサルタンツ(株)

3. 建設関連業五団体主催「コンプライアンスに関する会員研修会」(総務委員会)

イベント名	建設関連業五団体主催「コンプライアンスに関する会員研修会」
開催日	令和7年6月12日(木) 14:00~17:00
場所	(財)福岡県中小企業振興センター「大ホール」(福岡市博多区吉塚本町9-15)
参加者	233名/141社 (うち建コン会員 96名/64社)
主催団体	(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部 (一社)福岡県測量設計コンサルタンツ協会 (一社)福岡県地質調査業協会 (一社)日本補償コンサルタント協会九州支部 (公社)全国上下水道コンサルタント協会九州支部
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■「独占禁止法の概要」 公正取引委員会事務総局九州事務所 経済取引指導官 東山 直人 氏 ■「フリーランス法の概要」 公正取引委員会事務総局九州事務所フリーランス取引適正化担当専門職員 鵜 寿子氏 ■「人手不足時代に効くこれからの人事マネジメント」 アドバンス特定社会保険労務士 伴 芳夫 氏



▲コンプライアンスに関する会員研修会の様子

4. 「新支部長就任記者会見」

イベント名	新支部長就任記者会見
開催日	令和7年5月15日(木) 13:30~14:30
場所	建コン九州支部会議室(福岡市博多区博多駅東2-6-26 安川産業ビル9階)

内 容 穂山新支部長の就任記者会見



5. 令和7年度 第1回委員長交流会（企画委員会）

- イベント名 令和7年度 第1回 委員長交流会
開催日 令和7年7月3日（木）15：00～17：00
場所 九州支部会議室（福岡市博多区博多駅東 2-6-26 安川産業ビル9階）
参加者 26名
内 容 1.令和6年度第2回委員長交流会議事録について
2.令和7年度事業運営方針について
3.令和7年度予算計画について
4.令和7年度事業計画について（活動内容の確認）
5.その他事項



▲第1回委員長交流会の様子

【対外活動部会】

1.土木遺産な旅 2025（広報委員会）

- イベント名 土木遺産な旅 2025
開催日 令和7年4月13日（日）
場所 西海橋、石井樋、昇開橋・デ・レイケ導流堤・有明筑後川大橋
参加者 長崎大学 3年生ほか34名
内容 大学生が土木技術者・専門家と共に（一社）九州地域づくり協会発行の“土木遺産な旅のススメ”でとり上げた土木遺産（長崎県の西海橋、佐賀県の石井樋、筑後川のデ・レイケ導流堤・有明筑後川橋梁・昇開橋など）を訪問し、新旧の橋梁技術や河川の治水技術について学び、その地に必要とされた土木事業について考え、旅ノート（2023年夢アイデア特別賞受賞作）を作成する。



▲書籍:土木遺産な旅のススメ（九州地域づくり協会発行）

2.土木遺産な旅 2025・旅ノート報告会（広報委員会）

- イベント名 土木遺産な旅 2025・旅ノート報告会
開催日 令和7年6月28日（土）
場所 長崎大学文教キャンパス
結果 最優秀賞： 久保 拓真さん
審査員特別賞： 川崎 はなさん
優秀賞： 佐藤 舞さん、福浦 知葉さん
内容 4/13 開催「土木遺産の旅 2025」参加者に旅を通じて感じた「1.先人の知恵に学べたこと 2.橋の面白さ」について旅ノートを作成いただき、1次審査を通過した4名に各自の旅ノートの内容を基に、土木遺産、土木業界、将来に対する思い、今回イベントの感想などを発表いただいた。4名の審査員により「最優秀賞」1編、「審査員特別賞」1編、「優秀賞」2編が選ばれた。

【技術部会】

1. 大学生対象「設計演習講座」(河川技術委員会)

- イベント名 九大生対象「設計演習講座」
- 開催日 令和7年6月23日(月)～令和7年6月27日(金) 全5回
- 場所 九州支部会議室(福岡市博多区博多駅東2-6-26 安川産業ビル9階)
- 参加者 8名(3年生7名、大学院生1名)
- 内容 九州大学と建コン九州支部連携の人材育成講座。九州大学の学生を対象に会員会社の技術者を講師とし、簡単な水理、土質、構造の三力で防災施設の設計に触れる講座を5回に渡り開催した。



2. 「現地見学会」(環境・都市等技術委員会)

- イベント名 現地見学会～福岡市内で展開されているまちづくりの先進事例から学ぶ持続可能な地域づくりのヒント～
- 開催日 令和7年5月21日(水)
- 参加者 37名(21社)
- 場所 福岡市内(山王公園雨水貯留施設、福岡市青果市場、海の中道海浜公園、積水ハウス(株) 照葉パビリオン)
- 内容 「福岡市内で展開されているまちづくりの先進事例」をテーマに、浸水被害軽減に向けて雨水調整池が地下に整備された山王公園、全国で初めて国営公園でパークPFIが実施された海の中道海浜公園、公・民・学連携のプラットフォームUDCICによるまちづくり活動が展開されているアイランドシティを巡ることで、「まちづくり部門・自然環境部門」に従事する技術者として、持続可能な地域づくり(SDGs)に貢献できるヒントを発掘した。





▲現地見学会の様子

【夢アイデア部会】

1. 第23回夢アイデア まちづくりに関する提案の募集（夢アイデア企画委員会）

イベント名 第23回夢アイデア まちづくりに関する提案の募集
 募集締切 令和7年9月30日（火）
 内 容 会員、官公庁、学校にチラシ・ポスターを配布し募集開始を告知

SNSを通じ最新の情報を発信しています。

女性技術者委員会

建設コンサルで活躍する方やこれから就職・就活する方、育児中の方に向けて情報発信しています。



<https://www.instagram.com/kirapro.kyu/>

<https://ja-jp.facebook.com/kirapro.kyu>

若手技術者委員会

建設コンサルタント業界で働く若手技術者が働きやすく、より活躍できることを目指して活動しています。



https://www.instagram.com/kenkon_kyusyu_wakate/

<https://www.facebook.com/KenkonKyusyuWakate>

広報委員会

建設コンサルタントの仕事の紹介やイベント情報などを発信しています。

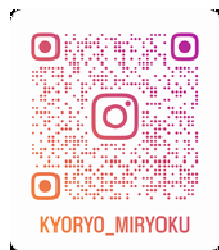


https://www.instagram.com/kouhou_jcca9/

道路技術委員会・橋梁三力研究会

「橋梁三力（ミリヨク）研究会」とは、九州を中心とした橋梁関係（建設コンサルタンツ協会、日本橋梁建設協会、プレストレスト・コンクリート建設業協会）の若手技術者により結成されたチームです。

3 協会連携し、情報共有による効率化・技術力向上や橋梁建設に関わる入職者の確保・定着を図ることを目的として活動を行っています。



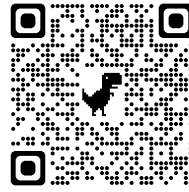
https://www.instagram.com/kyoryo_miryoku/

夢アイデア部会

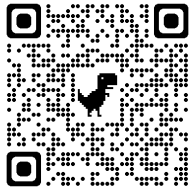
「夢のような話を、本気でしよう。」夢アイデアの募集、交流を通じ九州から街づくりの夢アイデアを発信しています。



<https://www.instagram.com/yumeidea/>



<https://www.facebook.com/yumeidea>



<https://twitter.com/yumeidea>

一般社団法人建設コンサルタンツ協会九州支部 <https://jcca-kyushu.jp/>



	企業名	所在地	電話
1	アーバンテクノ(株)	812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-8-10	092-409-3866
2	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング 九州支社	812-0872 福岡市博多区春町 1-6-6	092-571-5681
3	朝日テクノ(株)	840-0203 佐賀市大和町大字梅野 280	0952-37-9300
4	アジアエンジニアリング(株)	815-0031 福岡市南区清水 1-14-8	092-553-2800
5	(株)アジア技術コンサルタンツ	890-0069 鹿児島市南郡元町 25-1	099-251-2160
6	(株)アジア建設コンサルタント	815-0082 福岡市南区大楠 2-8-13	092-521-5931
7	アジア航測(株) 福岡支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 4-9-2	092-441-1480
8	アズテックコンサルタンツ(株)	830-0046 久留米市原古賀町 30-1	0942-36-3560
9	(株)ARIAKE	861-4108 熊本市南区幸田 2-7-1	096-381-4000
10	(株)アルファ	806-0068 北九州市八幡西区别所町 2-38-203	093-642-5122
11	E-tecsコンサルタント(株)	857-0136 佐世保市田原町 9-15	0956-41-4333
12	いであ(株) 九州支店	812-0055 福岡市東区東浜 1-5-12	092-641-7878
13	(株)ウエスコ 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-1-9	092-483-3291
14	エアロヨタ(株) 西日本空情支社九州営業部	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-12-1	092-437-5905
15	エイコーコンサルタンツ(株)	815-0083 福岡市南区高宮 5-10-12	092-534-8150
16	(株)エイト日本技術開発 九州支社	812-0018 福岡市博多区住吉 3-1-80	092-686-9941
17	(株)エース 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-9-25	092-292-0821
18	(株)エスケイエンジニアリング	818-0072 筑紫野市二日市中央 1-1-50	092-925-4880
19	(株)エム・ケー・コンサルタント	812-0882 福岡市博多区麦野 6-14-19	092-573-2777
20	(株)オオバ 九州支店	810-0074 福岡市中央区大手門 1-1-12	092-714-7521
21	扇精光コンサルタンツ(株)	851-0134 長崎市田中町 585-4	095-839-2114
22	応用地質(株) 九州事務所	812-0018 福岡市博多区住吉 3-1-80-3F	092-402-0840
23	(株)オービット	812-0877 福岡市博多区元町 1-7-12	092-589-3418
24	(株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-2-8	092-411-6209
25	(株)片平新日本技研 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-16-1	092-433-8805
26	川崎地質(株) 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-9-11	092-292-4386
27	(株)技術開発コンサルタント	812-0036 福岡市博多区上呉服町 12-8	092-271-2518
28	基礎地盤コンサルタンツ(株) 九州支社	814-0022 福岡市早良区原 2-16-7	092-831-2511
29	九建設計(株)	876-0045 佐伯市大字上岡 2270	0972-22-4126
30	(株)九州開発エンジニアリング	862-0912 熊本市東区錦ヶ丘 33-17	096-367-2133
31	九州技術開発(株)	849-0937 佐賀市鍋島 5-7-23	0952-32-1112
32	九州建設コンサルタント(株)	870-0946 大分市大字曲 936-1	097-569-9595
33	九州工営(株)	880-0015 宮崎市大工 2-117	0985-28-1122
34	(株)九州土木設計コンサルタント	880-0123 宮崎市大字芳士 3701-59	0985-39-3330
35	九和設計(株)	806-0068 北九州市八幡西区别所町 2-38	093-641-3773
36	協同エンジニアリング(株)	870-0876 大分市大字三芳 1238-1	097-545-2111

	企業名	所在地	電話
37	(株)共同技術コンサルタント	880-0036 宮崎市花ヶ島町大原 2361-1	0985-29-0240
38	(株)橋梁コンサルタント 西日本支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-18-33	092-461-2011
39	(株)キョウワ	879-0627 豊後高田市新地 1952-3	0978-24-3062
40	(株)協和コンサルタンツ 九州支社	810-0001 福岡市中央区天神 3-11-20	092-733-1241
41	(株)熊本建設コンサルタント	862-0917 熊本市東区榎町 16-52	096-367-4111
42	(株)ケイディエム	883-0005 日向市中堀町 3-119	0982-52-0696
43	(株)ケー・シー・エス 九州支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-4-4	092-472-4521
44	(株)建設環境研究所 九州支社	812-0023 福岡市博多区奈良屋町 2-1	092-271-6600
46	(株)建設技術研究所 九州支社	810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12	092-714-2211
46	(株)建設技術コンサルタンツ	890-0007 鹿児島市伊敷台 1-22-1	099-229-2800
47	(株)建設技術センター	812-0023 福岡市博多区奈良屋町 1-1	092-283-6610
48	(株)建設コンサルタントサニー	870-0952 大分市下郡北 3-24-3	097-567-8600
49	公月測量設計(株)	879-4413 大分県玖珠郡玖珠町大字塚脇 163-8	0973-72-0470
50	(株)晃和コンサルタント	880-0925 宮崎市大字本郷北方 3009-1	0985-51-5818
51	(株)興和測量設計	861-5501 熊本市北区改寄町 2141-1	096-272-7711
52	国際技術コンサルタント(株)	849-0203 佐賀市久保田町大字新田 3797-3	0952-51-3711
53	国際航業(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-3	092-451-5001
54	(株)国土開発コンサルタント	880-0015 宮崎市大工 3-155	0985-24-6487
55	(株)国土技術コンサルタンツ	890-0008 鹿児島市伊敷 2-14-10	099-229-0030
56	(株)吾水総合コンサルタント	806-0065 北九州市八幡西区養福寺町 7-9	093-621-3366
57	(株)コスモエンジニアリング	843-0001 武雄市朝日町大字甘久 3796	0954-23-0200
58	(株)五省コンサルタント	812-0027 福岡市博多区下川端町 9-12(福岡武田ビル)	092-281-4210
59	(株)コンサルハマダ	861-8034 熊本市東区八反田 1-1-15	096-385-1171
60	(株)サザンテック	876-0111 佐伯市弥生大字井崎 495-2	0972-28-5686
61	(株)佐藤設計コンサルタント	879-7111 豊後大野市三重町赤嶺 902	0974-22-6432
62	産業開発コンサルタント(株)	812-0044 福岡市東区筥松 3-13-9	092-621-7118
63	(株)サン建コンサルタント	879-5502 由布市挾間町向原 1298-1	097-583-4218
64	サンコーコンサルタント(株) 九州支社	810-0802 福岡市博多区中洲中島町 2-3-6F	092-271-2903
65	(株)サンコンサル	812-0888 福岡市博多区板付 2-5-4	092-582-1290
66	(株)三洋コンサルタント	800-0031 北九州市門司区高田 1-3-1	093-342-8240
67	(株)シー・バス・プランニング	862-0911 熊本市東区健軍 1-7-21	096-282-8678
68	ジーアント・エスエンジニアリング(株)	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-24-9	092-481-3100
69	(株)CTI グラント・プランニング	810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12	092-737-5333
70	JR九州コンサルタンツ(株)	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-1-14	092-413-1021
71	シビックアーツコンサルタント(株)	815-0032 福岡市南区塩原 4-5-29	092-555-4151
72	(株)島田設計コンサルタント	882-0803 延岡市大貫町 6-150	0982-33-5141
73	(株)新日本技術コンサルタント	890-0034 鹿児島市田上 8-24-21	099-281-9143
74	(株)親和コンサルタント	849-0933 佐賀市卸本町 7-25	0952-32-1348

	企業名	所在地	電話
75	(株)スリーエヌ技術コンサルタント	812-0008 福岡市博多区東光 2-1-13-8F	092-482-7800
76	(株)セイコー	830-0052 久留米市上津町 1874	0942-22-5850
77	精巧エンジニアリング(株)	879-5103 由布市湯布院町川南 11-3	0977-85-3344
78	(株)西部技建コンサルタント	886-0004 小林市細野 4175-2	0984-24-0511
79	(株)西部技術コンサルタント	812-0016 福岡市博多区博多駅南 4-18-12	092-437-5711
80	セントラルコンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1	092-432-5385
81	(株)総合技術コンサルタント 九州支店	812-0039 福岡市博多区冷泉町 4-17	092-409-7270
82	(株)第一技術コンサルタント	815-0036 福岡市南区筑紫丘 2-6-11	092-554-1773
83	第一復建(株)	812-0006 福岡市博多区上牟田 1-17-9	092-412-2230
84	ダイエーコンサルタント(株)	879-0311 宇佐市大字森山 1813-5	0978-32-0584
85	(株)大進	890-0016 鹿児島市新照院町 21-7	099-239-2800
86	(株)大進コンサルタント	861-2102 熊本市東区沼山津 4-2-22	096-365-0112
87	大成ジオテック(株)	830-0038 久留米市西町 1174-10	0942-34-5622
88	(株)タイセイプラン	862-0924 熊本市中央区帯山 1-44-39	096-381-5665
89	大日本タイヤコンサルタント(株) 九州支社	812-0024 福岡市博多区綱場町 9-20	092-288-7171
90	大福コンサルタント(株)	890-0068 鹿児島市東郡元町 17-15	099-251-7075
91	(株)太平設計	802-0023 北九州市小倉北区下富野 1-6-21	093-551-1413
92	太陽技術コンサルタント(株)	882-0062 延岡市松山町 1170-1	0982-33-2107
93	大洋測量設計(株)	879-0444 宇佐市大字石田 44	0978-32-4234
94	大和コンサル(株)	830-0022 久留米市城南町 23-3	0942-33-8191
95	(株)高崎総合コンサルタント	839-0809 久留米市東合川 3-7-5	0942-44-8333
96	中央開発(株) 九州支社	814-0103 福岡市城南区鳥飼 6-3-27	092-831-3111
97	(株)中央技術コンサルタンツ 西日本支社	862-0950 熊本市中央区水前寺 6-27-25	096-383-5353
98	中央コンサルタンツ(株) 福岡支店	812-0039 福岡市博多区冷泉町 2-1	092-271-2541
99	中央復建コンサルタンツ(株) 九州支社	812-0038 福岡市博多区祇園町 4-61	092-282-0441
100	(株)長大 福岡支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 4-11-19	092-477-2650
101	(株)千代田コンサルタント 九州支店	812-0018 福岡市博多区住吉 2-2-1-3F	092-262-0770
102	(株)テクノ	839-0809 久留米市東合川 3-1-21	0942-44-8700
103	(株)テクノコンサルタント	870-0108 大分市三佐 1-5-14	097-527-5111
104	東亜建設技術(株)	819-0046 福岡市西区西の丘 1-7-1	092-892-7710
105	(株)東亜コンサルタント	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-28-10	092-415-1313
106	東亜コンサルタント(株)	870-0150 大分市東原 1-20-17	097-558-4884
107	(株)東京建設コンサルタント 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-12-3	092-432-8000
108	(株)東光コンサルタンツ 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-10-35	092-472-3323
109	(株)トーチコンサルタント 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-6-10	092-686-7300
110	東洋技術(株)	870-0856 大分市畑中 2-7-42	097-554-5330
111	東洋測量設計(株)	879-2421 津久見市大字津久見 515	0972-82-5646
112	(株)トキワ・シビル	812-0882 福岡市博多区麦野 1-22-3	092-571-3737

	企業名	所在地	電話
113	内外エンジニアリング(株) 福岡支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-20-3	092-431-2851
114	(株)西田技術開発コンサルタント	889-1602 宮崎市清武町今泉丙 722	0985-77-8855
115	西鉄シー・イー・コンサルタント(株)	815-0033 福岡市南区大橋 2-8-1	092-235-9140
116	西日本技術開発(株)	810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1	092-781-2831
117	西日本建技(株)	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-13-6	092-441-7676
118	西日本コンサルタント(株)	870-0852 大分市田中町 1-1-8	097-543-1818
119	西日本総合コンサルタント(株)	849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉 3114-3	0952-98-2141
120	(株)西日本測量設計	830-0051 久留米市南 1-14-11	0942-32-2323
121	西日本測量設計(株)	862-0918 熊本市東区花立 5-5-87	096-367-8900
122	(株)日建技術コンサルタント 九州支社	812-0024 福岡市博多区綱場町 8-23	092-263-5250
123	(株)日建コンサルタント	870-0018 大分市豊海 3-7-7	097-534-0313
124	日進コンサルタント(株)	871-0025 中津市万田 602-2	0979-24-5436
125	(株)日水コン 九州支所	812-0038 福岡市博多区祇園町 7-20	092-282-1354
126	(株)日設コンサルタント	812-0035 福岡市博多区中呉服町 1-22-2F	092-262-2377
127	日鉄鉱山コンサルタント(株) 九州本社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-23	092-451-6467
128	(株)日本インシーク 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-18-25	092-433-2771
129	日本工営(株) 福岡支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12	092-475-7131
130	日本工営都市空間(株) 九州支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 1-4-10	092-451-6141
131	日本交通技術(株) 九州支店	812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 8-20	092-433-3070
132	(株)日本港湾コンサルタント 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-14-1-10F	092-482-0345
133	日本振興(株) 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-5-21-2F	092-481-0264
134	日本地研(株)	812-0894 福岡市博多区諸岡 5-25-25	092-571-2764
135	(株)ニュージェック 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1-3F	092-402-0251
136	(株)萩原技研	892-0816 鹿児島市山下町 16-20	099-222-8700
137	パシフィックコンサルタンツ(株) 九州支社	812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 7-21	092-418-8020
138	(株)パスコ 九州事業部	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-5-2	092-451-3522
139	(株)東九州コンサルタント	882-0861 延岡市別府町 4209-2	0982-33-1120
140	(株)久永コンサルタント	890-0007 鹿児島市伊敷台 1-22-2	099-228-6600
141	日向測量設計(株)	883-0013 日向市新生町 1-72	0982-52-5445
142	フェニックスコンサルタント(株)	880-0121 宮崎市大字島之内字境田 6652	0985-39-2914
143	(株)福山コンサルタント	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-18	092-471-0211
144	(株)富士設計	870-0942 大分市大字羽田 930-1	097-574-5318
145	(株)フタバ設計	812-0887 福岡市博多区三筑 1-6-14	092-591-6903
146	(株)復建エンジニアリング 福岡支社	810-0041 福岡市中央区大名 2-12-15-2F	092-716-6262
147	復建調査設計(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-12-24	050-9002-4660
148	(株)ホープ設計	903-0813 那覇市首里赤田町 3-5	098-911-9073
149	(株)間瀬コンサルタント 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-28	092-471-6610
150	(株)松尾設計	805-0061 北九州市八幡東区西本町 2-5-5	093-661-4970

	企業名	所在地	電話
151	松本技術コンサルタント(株)	871-0161 中津市大字上池永 1285-10	0979-23-3636
152	(株)水野建設コンサルタント	862-0933 熊本市東区小峯 2-6-26	096-365-6565
153	(株)溝田設計事務所	830-0032 久留米市東町 480-16	0942-38-6548
154	三井共同建設コンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1	092-441-3872
155	(株)宮崎産業開発	880-0022 宮崎市大橋 3-225	0985-27-7103
156	八洲開発(株)	862-0920 熊本市東区月出 1-1-52	096-384-3225
157	八千代エンジニアリング(株) 九州支店	810-0073 福岡市中央区舞鶴 3-9-39-9F	092-778-2001
158	(株)ワコー	861-4172 熊本市南区御幸笛田町 3-19-1	096-370-3333

(令和7年7月1日現在 158社) 更新：令和7年7月22日

